

和歌山県立 高等看護学院

学院案内 令和8年



Wakayama Prefectural Nursing School

看護師になりたいあなたの“愉しみ学ぶ”を支え、
次代を担い地域で活躍できる人材を育成します。



教育理念

- 人間尊重を基盤とし、調和のとれた豊かな人間性を備えた人材を育成します。
- 看護専門職に必要な知識・技術・態度を備えた人材を育成します。
- 主体性・創造性を備えた人材を育成します。
- 専門職としての責任感や研究的態度を備えた人材を育成します。
- 県民の健康と幸せに貢献できる人材を育成します。

学院の特色

伝統

昭和 25 年 5 月に開学。

以来、令和 8 年 3 月までに学院を巣立った卒業生は 5,222 人。

県内の医療機関を中心に活躍し、県民の健康と幸せを支え続けています。



環境

世界で初めて全身麻酔による外科手術に成功した『華岡青洲』ゆかりの地で、医療の歴史を感じながら学べます。

また、まんだらげの花をイメージし、看護を学ぶ学生のためにデザインされた校舎は、対話し、交流できるアカデミックな環境です。

学科及び定員

学 科	1学年定員	総定員	修業年限	備考
看護学科	50人	150人	3年	

沿革

昭和25年 5月	新制度による看護師養成所として和歌山県立医科大学附属高等看護学院を設立 5月22日開校
昭和27年 4月	和歌山県立高等看護学院と改称 和歌山市徒町に新築し移転
昭和28年 2月	所管変更により看護師養成所として厚生省認可
昭和28年10月	保健師養成所として厚生省認可
昭和42年 2月	助産師養成所として厚生省認可
昭和42年 4月	保健助産学部(合同コース)の養成開始
昭和42年 9月	和歌山市和歌浦に新築し移転
昭和43年12月	進学課程(夜間3年)の看護師養成所として厚生省認可
昭和53年 3月	専修学校として認可
昭和55年 4月	看護学科一部の定員を45名に増員 保健助産学部を保健学科・助産学科に分離し定員をそれぞれ15名とする
昭和58年 4月	保健学科の定員を20名に増員
平成 2年 4月	看護学科一部の定員を50名に、 看護学科二部の定員を45名に増員
平成 6年 4月	看護学科二部、夜間から昼間の 定時制に移行
平成11年 4月	那賀郡那賀町に新築し移転
平成17年11月	紀の川市となる
平成19年 3月	保健学科の閉学科
平成23年 4月	看護学科二部の定員を40名に減員
平成24年 4月	看護学科二部の定員を35名に減員
平成29年 4月	助産学科の定員を10名に減員
令和 2年 3月	看護学科二部閉課
令和 2年 4月	看護学科に名称変更
令和 4年 4月	助産学科の定員を5名に減員
令和 6年 3月	助産学科閉課

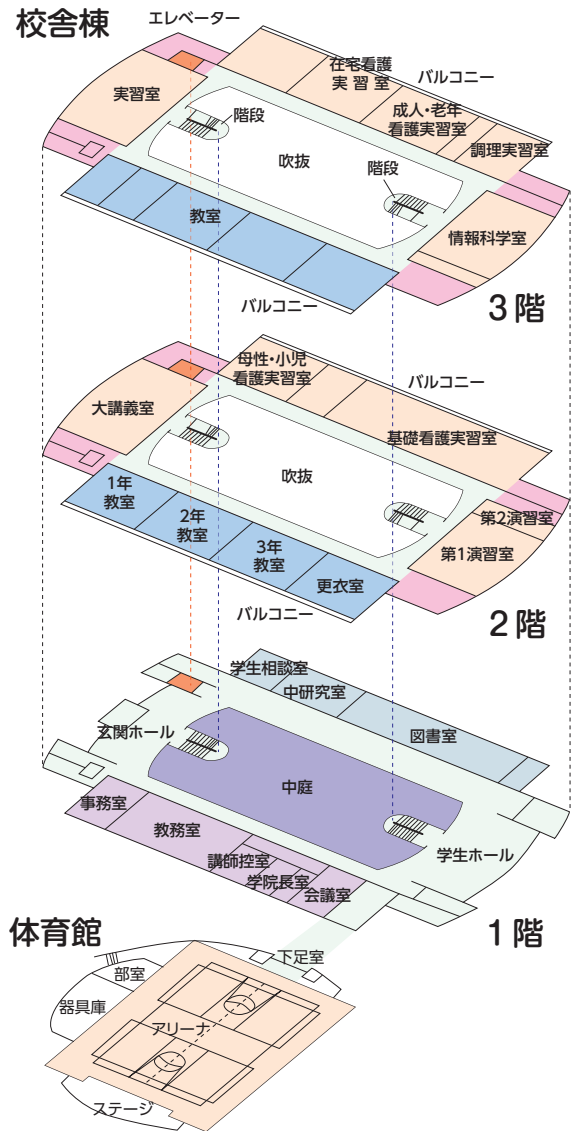
学費及び修学資金

授業料(年間)	120,600円
入学考査手数料	5,500円
入 学 金	22,000円
修 学 資 金 等	・修学資金を貸与する制度があります。 ・入学金及び授業料を免除する制度があります。 ・専門実践教育訓練給付金の支給対象校です。

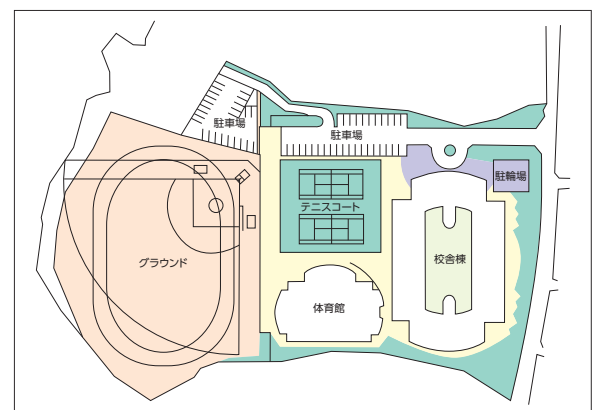
その他

スクールカウンセラー	相談日があります。
学 生 寮	学生寮はありません。
駐 車 場	学院に隣接した民間駐車場があります。

施設の概要



配置図



体育館はもとより、グラウンドやテニスコートまであり、県内有数の規模を誇っています。

看護学科（3年課程）

この学科は、高等学校卒業を入学資格とする、看護師の資格を得るための教育コースです。看護の実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、専門職として保健医療福祉の分野で社会に貢献できる看護師を育成します。



教育内容

基礎分野		専門基礎分野		専 門 分 野			
心理学 (1単位)	解剖生理学 I (2単位)	看護学概論 (1単位)	成人の健康と看護 II (1単位)	看護マネジメント (1単位)			
教育学 (1単位)	解剖生理学 II (2単位)	共通基本技術 I (1単位)	成人の健康と看護 III (1単位)	医療安全 (1単位)			
情報科学 (1単位)	生化学 (1単位)	共通基本技術 II (1単位)	成人の健康と看護 IV (1単位)	災害看護と国際看護 (1単位)			
論理的思考 (2単位)	病理学 (1単位)	日常生活援助論 I (2単位)	成人の健康と看護 V (1単位)	看護実践の倫理 (1単位)			
人間探索 (1単位)	病態学 I (2単位)	日常生活援助論 II (1単位)	老年看護学概論 (1単位)	臨床看護実践演習 (1単位)			
社会学 (1単位)	病態学 II (1単位)	診療援助技術 I (1単位)	高齢者の健康と看護 I (1単位)	多職種連携の基礎 (1単位)			
倫理学 (1単位)	病態学 III (1単位)	診療援助技術 II (1単位)	高齢者の健康と看護 II (2単位)	多職種連携の実際 (1単位)			
英語 I (1単位)	病態学 IV (1単位)	診療援助技術 III (1単位)	小児看護学概論 (1単位)	ケーススタディ (1単位)			
英語 II (1単位)	病態学 V (1単位)	健康段階・治療別看護 (2単位)	子どもの健康と看護 I (1単位)	基礎看護学実習 I (2単位)			
英語 III (1単位)	微生物学 (1単位)	薬と看護 (1単位)	子どもの健康と看護 II (1単位)	基礎看護学実習 II (2単位)			
人間関係論 I (1単位)	薬理学 (1単位)	看護過程 (1単位)	子どもの健康と看護 III (1単位)	地域・在宅看護論実習 I (2単位)			
人間関係論 II (1単位)	臨床検査 (1単位)	看護研究 (1単位)	母性看護学概論 (1単位)	地域・在宅看護論実習 II (2単位)			
保健体育 (1単位)	臨床判断の基礎 (2単位)	地域・在宅看護概論 I (1単位)	母性看護学活動論 I (1単位)	成人・老年看護学実習 I (2単位)			
	健康と栄養 (1単位)	地域・在宅看護概論 II (1単位)	母性看護学活動論 II (2単位)	成人・老年看護学実習 II (2単位)			
	公衆衛生学 (2単位)	家族看護論 (1単位)	母性看護学活動論 III (1単位)	成人・老年看護学実習 III (2単位)			
	社会福祉論 (2単位)	地域・在宅看護活動論 I (1単位)	精神看護学概論 (1単位)	小児看護学実習 (2単位)			
	看護関係法令 (1単位)	地域・在宅看護活動論 II (2単位)	精神の健康と看護 I (1単位)	母性看護学実習 (2単位)			
		成人看護学概論 (1単位)	精神の健康と看護 II (1単位)	精神看護学実習 (2単位)			
		成人の健康と看護 I (1単位)	精神の健康と看護 III (2単位)	統合実習 (3単位)			

合計 112 単位

資格取得

看護師国家試験受験資格
保健師・助産師学校受験資格

学校行事

新入生歓迎体育大会
学院祭
看護宣誓式

授業日程

月曜日～金曜日 9:00～16:10

主な実習場所

公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院及び紀北分院
橋本市民病院
公立那賀病院
独立行政法人 労働者健康安全機構 和歌山労災病院
和歌山県立こころの医療センター
医療法人 南労会 紀和病院
和歌山つくし医療・福祉センター
県内保健所・保育所・訪問看護ステーション・老人福祉施設 等

本校が求める 入学生像

- “看護師になりたい”と強い意志のある人が大前提です。
- そして、自分も他者も大切にできる人、自分のおこなったことを客観的に振り返ることができる人、あらゆることに柔軟に対応しようとする人、自らの健康に興味をもち自己管理ができる人、人と助け合って目標に向かっていける人を求めます。



梅の花の中心となる“楽しみ学ぶ”とは、なりたい看護師像に向かって生き活きと主体的に看護学生生活を送ることです。そこには、辛ささえも愉しく乗り越えていけるという意味もあります。また、看護を探究する内なる楽しさが続いていくということです。

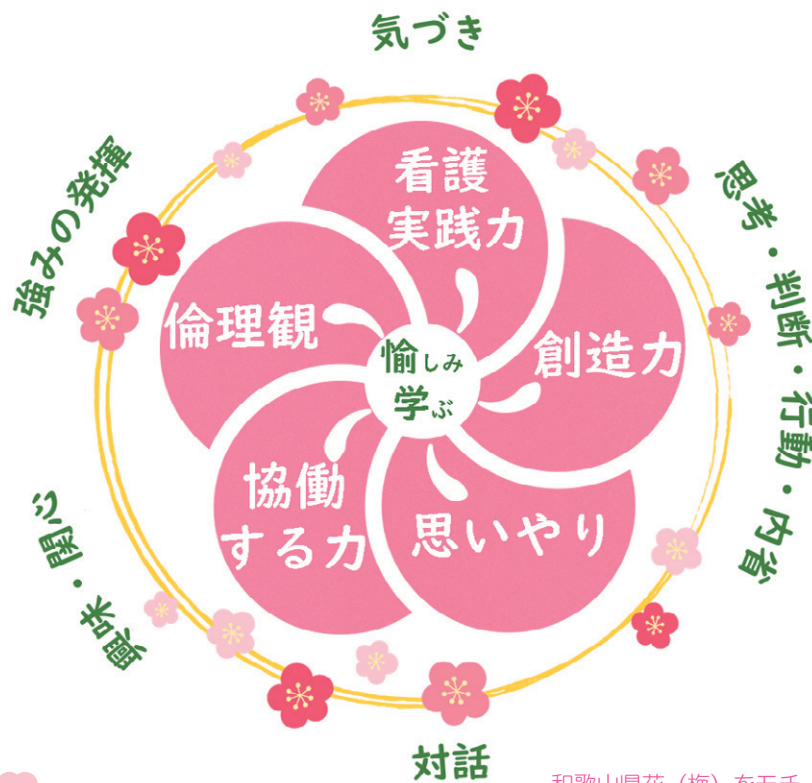
花びらの言葉は、本校の特色である学びの環境の下、本校のカリキュラムを修得することで身につく力を表しています。

- 看護実践力：最新の知識・技術をもち対象のニーズに合わせた最適な看護を実践する力
- 創造力：主体性をもち全てにおいて自身で考え発展させる力
- 倫理観：看護実践において常に揺るがないもの
- 協働する力：看護の役割を理解した上で他者と協力する力
- 思いやり：自他ともに慈しみ、気遣える心

梅の花を取り囲んでいる言葉は、本校の教育で大切にしていることです。看護は、気づくことから始まります。その気づきは、思考・判断・行動の源となり、看護をもっと知りたいと思う興味・関心へと広がっていきます。そして、あらゆる実践について常に自分を軸に客観的に振り返る（内省）ことが、さらなる気づきをもたらし、成長に繋がります。

人である自己・他者の強みに気づくことは、よりよく個々が持てる力を発揮できることとなります。

また、みなさんの学びにおいては、教員をはじめ仲間や実習指導者等との対話を重視していきます。



—和歌山県花（梅）をモチーフに表した本校の教育—
※イラストフリー

周りを囲む小さな梅の花が示すものは、どんな時もみなさんを見守ってくれる家族や、成長・学びを助け、協力してくれる地域の方、仲間や教職員、実習指導者等を表しています。

学 生 からの



1年

1年生は、講義や演習を中心に看護の基礎知識を学んでいます。身体のしくみや病態を学んだり、看護の基盤となる考え方や理論について講義中にクラスメイトと意見を共有しながら深めています。また、「人間探索」の授業では、美術・宗教・夢を通して、人間理解を深め多様な価値観を認め合う大切さを実感します。

先輩方と一緒に学習する機会や学校行事を通して、他学年との交流が多くあります。この機会を通じて、1年生のうちにやっておくこと、大事な知識や気になることについて気軽に相談することができとても心強いです。また、先生方とも距離が近く、何気ない話ができたりとても楽しいです。

入学当初は不安なことも多かったですが、一つ一つ乗り越えていくなかで、看護学生として、人として成長していることをとても感じます。



2年生は、1年生で学んだ知識や看護技術を土台に、実際の看護場面を意識しながら、看護を実践へと結びつける力を身につけていきます。シミュレーターを用いた授業では、患者さんの状態や反応が再現された環境の中で、これまでの学びを活かしながら考え行動する力を養っていきます。さらに、学外に出て地域の方々と交流する授業もあり、病院内だけでなく、日常生活の中で看護がどのような役割を果たしているか改

めて学ぶ機会になっています。

また、理学療法士を目指す学生との合同授業では、各々の役割や観察の視点について実際に演習室での実演や事例検討を通し情報共有の大切さや多職種で支える医療のあり方について経験することができます。



2年



メッセージ



3年



私たちのクラスは、笑顔を大切に互いに支え合いながら切磋琢磨することを目標に、日々看護を学んできました。同じ夢をもつクラスメイトとともに過ごすなかで、主体性をもって行動することや、協調しながら学ぶことの大切さを実感しています。

3年生は、1、2年生で学んだことを統合し、より実践的な看護場面に取り組んでいます。実習では、患者さんの回復過程に関わるなかで、看護のやりがいや責任を実感しています。患者さんやそのご家族からいただく「ありがとう」という言葉は、私たちの原動力となり、看護師を志した頃の初心に戻ることができます。看護師国家試験にむけた学習では、クラス全員で励まし合いながら共に学習しています。

学生生活の中で、時には高い壁に直面することもあります。温かくサポートしてくださる先生方や心強い仲間が存在することで乗り越えることができます。





●お問い合わせ先●

和歌山県立高等看護学院

〒649-6604 和歌山県紀の川市西野山505番1
TEL 0736-75-6280 FAX 0736-75-6283

e-mail e0501111@pref.wakayama.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050111/kenkan>



HP



Instagram

令和8年4月1日